

# 八街市環境基本計画 概要版

令和8(2026)年度 — 令和17(2035)年度



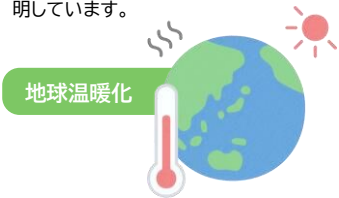
資源を循環させ、自然と共生し、  
持続可能なくらしをみんなで育む やちまた

## 3つの環境危機

現在、人類は気候変動・生物多様性の損失・汚染という、3つの世界的危機に直面しています。市としてもこれらの環境危機に対応し、環境保全を推進するため「八街市環境基本計画」を策定します。

### 気候変動

令和6(2024)年の世界平均気温は産業革命前より1.55℃上昇し、観測史上最高となりました。国際連合のグテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した」と表明しています。



### 生物多様性の損失

私たちが生きる現代は「第6の大量絶滅時代」ともいわれ、過去5回発生した大絶滅より種の絶滅速度は速く、その主な原因は人間活動による影響と考えられています。適切な対策を講じなければ今後更に加速すると指摘されています。

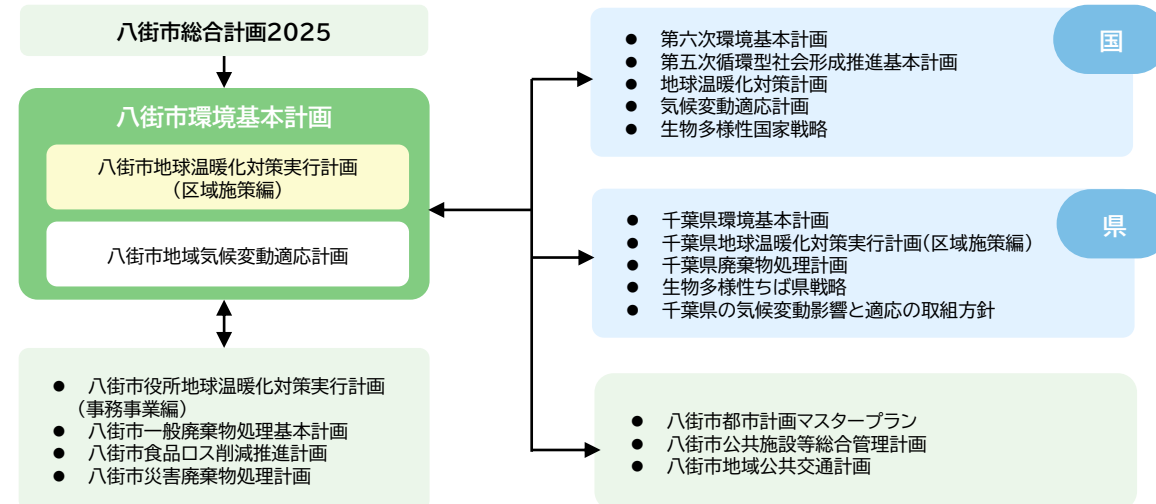


### 汚染

水、大気などの環境中の様々な媒体にまたがって存在する有害化学物質によるグローバルな汚染が深刻化しており、水、大気、食物連鎖等を通じた健康影響や生態系への影響が懸念されています。



## 計画の位置づけ

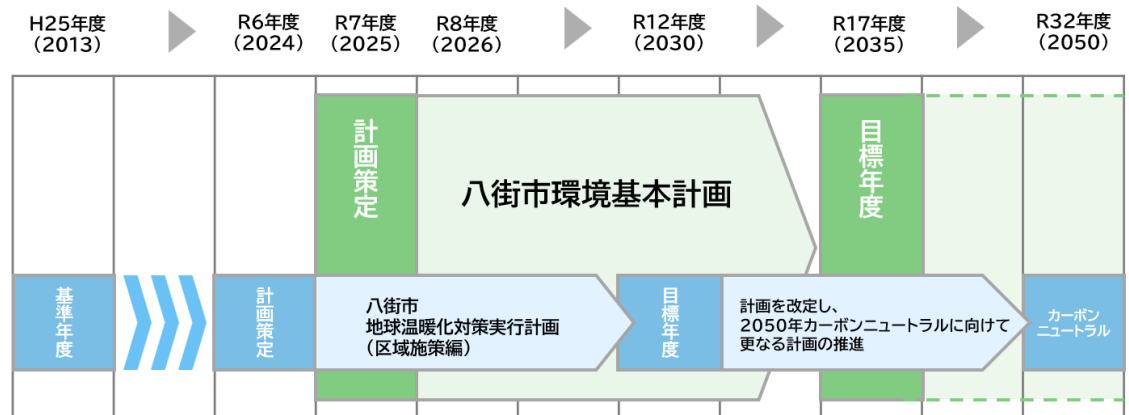


## 計画の期間と対象

八街市環境基本計画は、中・長期的な視点に立ち、本市の目指す環境像や環境施策の方向性を示すものであり、計画期間は開始年度を令和8(2026)年度、目標年度を令和17(2035)年度とする10年間です。

本計画に包含する八街市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)は、基準年度を平成25(2013)年度、目標年度を令和12(2030)年度とし、長期目標年度の令和32(2050)年までに二酸化炭素排出量実質ゼロの達成を目標とします。

八街市環境基本計画の対象となる環境の範囲	
資源循環	廃棄物、食品ロスなど
地球環境	地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、資源の有効活用、エネルギーなど
生活環境	大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、土壌汚染、生活排水など
自然環境	生物多様性の保全、緑・水辺等の保全、緑・水辺・自然とのふれあいなど



## 計画の基本目標と環境指標

持続可能な循環共生型社会を形成し、快適で安心して暮らせる地域環境を将来の世代に引き継いでいくために、5つの基本目標と環境指標を掲げます。

基本目標	環境指標項目	現状値	目標値	
1 脱炭素社会の構築	地球環境	「やちまたゼロカーボンシティ宣言」を聞いているまたは知っている市民の割合	58% (2024年度)	70% (2030年度)
	地域環境	市域の二酸化炭素排出量	478,474t-CO <sub>2</sub> (2021年度)	296,456t-CO <sub>2</sub> (2030年度)
	地域環境	市域の再生可能エネルギー導入量	133,105MWh (2021年度)	335,087MWh (2030年度)
	地域環境	市の事務事業における二酸化炭素排出量	5,940t-CO <sub>2</sub> (2021年度)	3,891t-CO <sub>2</sub> (2030年度)
	地域環境	小中学校照明等LED化改修件数	3件 (2023年度)	16件 (2029年度)
2 気候変動に強いまちづくり	地域環境	自主防災組織カバー率	70.3% (2023年度)	72.3% (2029年度)
	地域環境	蓄電池の配備箇所数	3箇所 (2023年度)	28箇所 (2034年度)
	地域環境	クーリングシェルター設置数	15箇所 (2025年度)	45箇所 (2034年度)
3 循環型社会の形成	資源循環	ごみ排出量	20,984t (2023年度)	19,784t (2029年度)
	資源循環	リサイクル率	19.7% (2023年度)	22.1% (2029年度)
4 生活環境の保全	生活環境	生活雑排水処理人口普及率	79.8% (2022年度)	85.6% (2034年度)
	自然環境	都市公園施設のバリアフリー化改修率	54.0% (2023年度)	100% (2029年度)
	生活環境	公害苦情処理件数	88件 (2023年度)	53件 (2029年度)
	生活環境	河川清掃の実施回数	1回 (2025年度)	2回 (2034年度)
5 環境学習の推進	横断的取組	ポスターコンクール応募件数	120件 (2023年度)	460件 (2029年度)
	横断的取組	やちまた環境フェアの開催回数	1回 (2025年度)	1回 (2034年度)
	横断的取組	小学生のクリーンセンター見学回数	1回 (2025年度)	1回 (2034年度)

# 目標達成に向けた施策

めざすべき環境像「資源を循環させ、自然と共生し、持続可能なくらしをみんなで育む やちまた」の実現に向けて、基本目標ごとに施策を整理し推進します。

脱炭素社会の構築		地球環境		
八街市環境基本計画		詳細 八街市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)		
基本目標	1	1. 省エネルギー対策の推進	暮らしにおける省エネ対策	住宅の省エネ促進/省エネ機器の導入促進/エネルギー消費量の見える化の促進/脱炭素型ライフスタイルへの移行促進
			事業活動における省エネ対策	建築物の省エネ促進/省エネ設備の導入促進/エネルギー消費量の見える化の促進/スマート農林業の推進/省エネルギー性能の高い農業機械の導入推進/脱炭素経営への移行促進
			地域における省エネ対策	公共施設の省エネ化推進/次世代自動車の導入促進/エコドライブの普及啓発/公共交通等の利用促進/カーシェアリングの普及啓発
	2	2. 再生可能エネルギーの普及拡大	公共施設等への再生可能エネルギー導入	太陽光発電設備・蓄電池の導入促進/再生可能エネルギー由来電力の導入
			市内への再生可能エネルギー導入・活用推進	太陽光発電・蓄電池の導入促進、太陽熱設備の普及啓発/再生可能エネルギー由来電力への切替促進/未利用の土地やエネルギー資源の活用検討
	3	3. 総合的な地球温暖化対策	吸収源対策	森林の整備・保全/地域材の利用促進
			ごみの減量化・資源化の促進	「3Rの推進」の周知徹底/食品ロス削減の推進/分別回収の徹底と店頭回収の周知/プラスチック製容器包装の分別回収・リサイクルの推進
			基盤的施策の推進	環境教育の推進/他自治体・企業との連携/環境配慮型商品の普及促進/バイオマスプラスチック類の普及
	2	気候変動に強いまちづくり	1. 自然災害対策の推進	防災に係る情報発信/自然災害発生時の対応指針・計画の策定/自然災害に強いインフラの整備
2. 暑熱への対応強化			熱中症予防に係る対策	
3. 農業分野の対策			病害虫・雑草等への対策/有害鳥獣への対策	
4. 自然生態系分野の対策			分布・個体群の変動への対策	
3	循環型社会の形成	1. 3Rの推進	リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)の促進/リサイクル(再資源化)の促進	
		2. 社会情勢に適應した適正処理の推進	社会情勢に適應した収集・運搬方法の検討/自然災害等のリスクに對應したごみ処理体制の構築/将来を見据えた施設整備の検討	
		3. 食品ロスの削減の推進	食品ロスの削減	
4	生活環境の保全	1. 環境リスクへの対応	大気・水質等の環境監視と情報提供の実施/事業活動への指導の実施	
		2. 自然環境と生物多様性の保全	水と緑の保全・創出/生物多様性の保全と普及啓発の推進	
		3. 快適で美しいまちづくりの推進	ポイ捨て対策の推進/環境美化活動の推進	
5	環境学習の推進	1. 環境に関する情報の発信	環境に関する情報の整備・提供/多様な媒体の活用	
		2. 環境保全を担う人材の育成	環境教育・環境学習の場づくり/環境意識向上に係る普及啓発の推進	

各施策の詳細は、  
 ● 八街市環境基本計画  
 ● 八街市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)  
 をご確認ください。

